

Q1 保育内容について

「知的教育は行わない」とのことですが、設定保育などは無いのですか？

A： 文字書きや計算、フラッシュカード、体育教室、合奏などはありませんが、絵本の世界が広がって「ごっこ遊び」や「表現遊び」、制作活動に広がります。

子どもたちの心の中から発想としてあふれてきたものを、遊びとして形にしていくことはたくさんあります。それが、単なる遊びとして展開するのか、「設定保育」と捉えられるかは大人の都合だと思います。子どもたちが夢中にワクワク遊べる毎日を提供したいです。

文字は教えませんが、語彙力がつくように「言葉遊び」を広げていきます。

「あ」から始まる言葉を思いついたら言ってもらい、ことばを列記していきます。知らない言葉が出てきたらみんなで共有したり調べたり、自宅に帰って聞いて来てもらったりしながら、語彙の数と同時にその言葉の意味や使い方を共有していくことで、会話力が高まります。

令和2年度の年長児の生活発表は、自分たちで劇のシナリオを作り、役割を決め、毎日配役を交代して楽しんでいて、発表会当日の配役も朝の話し合いで決めていました。当日の進行役のアドリブMCに応じて、その日なりの雰囲気になり、楽しめました。

Q2 遊びの体験学習重視とは、どのようなことですか？

A 子どもの遊びには段階があります。

0歳時期に、口、唇で、手足やいろいろなものをなめて遊ぶ時期から、べちゃべちゃ遊び、ヌルヌル遊び、砂での形遊び、ままごと、ごっこ遊び、見立て遊びへと発達します。

そのために、順序として乳幼児への原体験～本物に触れる体験を保障したいと考えています。年齢に応じて、身体を存分に使って遊びますし、水・どろ・砂の後は、紙、道具を使って製作したりします。年長になると、生活に密着した清掃作業やぞうきん縫いなど手仕事からぬいぐるみ作りなどに発展していきます。子どもたちに活動する自信がつくとアクティブラーニングとして、自らやりたい事を発信してくれるようになります。

Q3 アクティブラーニングってどんな教育ですか？

A 保育園の教育活動として、子どもたちが主体的に、なぜ？どうして？と思うことや、やってみたい！面白そう！という発信を形にして毎日のワクワクにつないでいくことと考えます。

5歳児の1年目の活動の一例ですが

運動会の競技種目やチーム編成、発走順番等を子どもたちと相談しながら決めました。

発表会ではシナリオ作り、演出、キャスティングすべてを子どもたちが考えました。

遠足の場所、持っていく物、活動内容、役割分担も子どもたち主体に話し合って決め、責任を持たせました。大人の世界では、「自治活動」と言いますが、教育活動です。

Q4 文字指導などが無くても、小学校の学習に追いついていけますか？

A 保護者が一番気になる事だと思いますが、4年生（10歳）頃に明確な結果として現れます。保育園で文字指導はしませんが、「あ」で始まる言葉集めに始まり、「〇〇ん」や「〇〇る」「〇ん〇ん」などの言葉探しを年間通じて行いながら、様々な語彙をクラスで共有していきます。そこで、ほとんどの文字が読めるようになり、語彙力・対話力に活かされています。

1年生になった子ども達の気持ちが2通りに分かれるのをみてきました。

①宿題をワクワクしながらやる子：ひらがなの宿題に興味を持って取り組む子。

やった！1年生！お勉強が出来る！という気持ち！

②宿題をバカにしている子：「今ごろ”ひらがな”!? 知ってるし!!」と、授業に興味を持たず、得意教科と苦手教科が顕著になり、学校が面白くなくなっていました。

*身体が育っている子は、集中力が続きます。クネクネ・ダラダラしない。

*集中して夢中になって遊べる子は、学び始めたら吸収力がすごいです。

*6歳児は30分の素話「読み聞かせ」が聞けるように育てます。

頭の中でストーリーに沿った映像が見えるようになると、お話好きになるし、本・教科書をちゃんと読むようになります。よく読む子は、学習力・理解力がつきます。

*しっかり遊んで、仲間と切磋琢磨してきた子は、よく質問します。

「なぜ?」「どうして」「〇〇じゃないの?」と問う。

わからないことに「わからない!」「もう一度教えて!」と言えます!

学校生活は、社会生活の一部。人として大事なことは、つまりいたりダメか行き詰った時に、逃げないで頑張り続けることや、誰かに助けを求めて乗り切る渡世術ではないかと思えます。また、仲間や夫婦で協力し合い、折り合いをつけ、説得し、我慢し、妥協し、良好な関係を上手に保ち続ける距離感と状況判断力も必要です。子どもたちは、毎日毎日、けんかし、妥協し、我慢し、話し合い、折り合いをつけながら強くなっていきます。

Q5：保育園のおやつは手作りなのですか？

A 給食・おやつ・延長保育のおやつ・延長保育の夕食等、行事等での影響がない限り極力、手作りの食事・おやつを提供していきたいと考えています。

Q6：子どもの食べ物の「好き・嫌い」には、どのように対応されますか？

A 高齢者への食事サービスと同じように、保育園でもお子様本人との信頼関係を重視し、強要はいたしません。嫌いなものは、まずは「外してあげる」ように対応し、本人の身体と食の成長をみながら、「一口食べてみない?」と誘っていきたくと思います。

一口でも食べようと思うようになるのに、1週間なのか1か月なのか、3カ月なのか…「信じて待つ力」が保育士に試されます。

当然「ねがい」としては、6歳になる時には「出されたものは全て、時間内においしく楽しく食べてしまえる」子どもに育てていきます。食べる力=生きる力が育ってくれます。

Q7：アレルギー食への対応は、どのように考えてありますか？

A 栄養士も勤務します。医師の診断に従って、出来る限りの代替食（除去食）を用意させていただき、本人が引け目を感じないように出来るだけ配慮してあげたいと思っています。

Q8 玄米は幼児にも大丈夫なのですか？ 農薬は大丈夫ですか？

A 4月から全員一斉に毎日…とは思っていません。

年齢、そしゃく力、日ごろの食事状態を把握しながら、徐々に進めていきます。そのために、給食室には7升炊きの圧力釜と別に、3升炊きのガス炊飯器を準備しています。

- 玄米なので、確かに農薬も気になるところです。そこで、久留米から無農薬米を購入しています。黒米・赤米も一緒に仕入れています。

Q9 送迎用駐車場はあるのですか？

保育園から100mほど離れたところに駐車場があります。職員を含めて25台駐車可能。

保育園の前にも駐車スペースがありますが、通常は0歳児の保護者と妊婦さん優先。

見学のお客様は、保育園の前に駐車してください。

Q10 延長保育時間の料金は？

- A
- | | | |
|---------------|----------|--------|
| • 標準時間保育の場合 | 単発：30分単位 | 300円 |
| 18時～19時（軽食付き） | 月額 | 4,000円 |
| 18時～20時（夕食付き） | 月額 | 7,000円 |
- 保育短時間の場合 単発のみ 30分単位 300円

Q11：「布おむつをすすめる」とのことですが、持ち帰りはあるのですか？

A 布おむつは「レンタル」です。おむつは、業者が回収して洗濯しています。

専門業者が回収・洗浄・殺菌・消毒・高熱乾燥～搬送してくれます。

病院・老人ホーム等にも納入している50年以上実績のある会社です。

保育園に登園したら布おむつに交換。帰りはご自宅用に替えて帰ります。

レンタル月額は年齢、頻度により異なりますが、参考として

0歳：約5,000円 1歳：約4,000円 2歳：約3,000円

- おむつカバーのみ個人で用意していただき、持ち帰りをお願いしています。

- 現在（R3年度）の2歳児クラスは、6月から全員パンツになりました。1歳児クラスの時から布おむつで生活したから、排泄の自立が早かったのだと実証されました。

Q12 お薬を飲ませたり、塗り薬の塗布などは、対応していただけるのですか？

A 基本的にお薬は、医師から保護者へ処方され、保護者の責任で与薬されるものです。

保護者以外の保育士等が与薬することはできません。

一日3回と処方されたお薬は、「朝、帰宅後、寝る前」に与薬していいか医師に相談していただくようお願いすると思います。塗り薬も同様です。

また、医師の処方以外の市販のお薬は、一切受け付けられません。

緊急・特別なお薬が処方された場合は、医師からの文書を確認させていただいたうえで対応させていただきます。

なお、アレルギー等の確認・対応は、定期的に面談しながら丁寧にすすめていただきたいと思います。職員も勉強させていただきたいと思っています。

Q13：遊びで運動面を育てるとのことですが「筋力がつくと良くない」と聞きましたが？

A 基本的に小さい頃に筋肉がつくと、骨を引っ張って身体の成長を妨げやすくなります。

保育園では、筋力をつけるためではなく、身体を正しく支えるための強さとしなやかさを育てたいと思っています。ハイハイ、高バイ、両生類のハイハイなどで体幹を育てたいと思っていますが、体操の選手を育てようとは思いません。

幼児期に必要なことは筋トレではなく、筋肉や体を柔らかく保つ柔軟体操（ストレッチ）です。

小学校の授業で、40分間の姿勢保持が難しい子が増えています。体幹が育っていないため、疲れてきて、意識の中心は「きついなー、早く終わらないかなー」と、時間が気になってきて、学習が身に入りません。学習に集中するためには、体幹の育ちが大事です。

Q14：3歳以上の子どものための室内遊びは、どのような内容ですか？

A 1歳くらいまでは、個別支援（1対1）として達成感を感じれるおもちゃやままごと、ブロックなどで遊びますが、2歳児クラスからは個別遊びに加えて、対面で役割があるごっこ遊びが展開されていきます。

3歳以上は、基本的には子どもたちのやりたい遊びを広げてあげたいと思っていますが、遊び慣れていない子には、子ども同士で誘いながらごっこ遊びへ誘っていきます。

例：昨年度の3歳児の室内活動（5月～7月）

1. 3歳児室の窓際をロケットの発射台と見立てて遊んでいる子を見て、窓に星を作って貼ろうと、皆で星の製作をする。
2. 星だらけの窓下で宇宙ステーションごっこに発展した後、子豚のプー、フー、ウーの家に展開する。
3. 子豚ごっこで毎日「ブイブイ」言いながら生活していたら、「せんたくかあちゃん」の絵本の発展で室内に洗濯ひもを張って、洗濯した（作った）Tシャツや子豚や鬼などをつるして干して、室内が洗濯物だらけになって生活していました。

絵本や会話の中から広がった子どもたちのイメージを制作活動やごっこ遊びに展開していました。

例：5歳児は、今年5月からなわとびを三つ編みしたり、裁縫でぞうきをぬうなどの手仕事をしたり、自由遊びの時間には、トランプ、ウノ、オセロ、折り紙など机上での遊びが流行していました。9月以降は家庭からケーキやお惣菜の空容器などを持参してお店屋さんごっこの商品作りなどでワクワク時間を使っています。

Q15：プール活動はあるのですか

A 毎年、3m×5m、深さ50cmのプールを組み立てています。

夏のプール活動での心肺機能の育ちが、冬の感染症への抵抗力になるため、コロナ禍でもプール活動は継続したい活動です。

Q16：夏の暑い時にも外遊び活動は実施されるのですか？

A 3歳以上は、出来れば毎日外遊びを実施したいと思っています。目的は

1. 外遊びで遠くを見たりキョロキョロすることで視力を上げる。
2. 紫外線を浴びて遊び、ブルーライトにやられない強い目に育つ。
3. 近視を抑えるバイオレットライトを浴びて、目が悪くなるのを防ぐ。
4. 広い場所で広範囲を見ながら遊ぶことでブラインド（視界・視野）を広げる。
5. 今後、運動会やサッカーなどの外での活動は、35℃の中で行われることが想定されます。その時に、気温を気にせず夢中になれるために、35℃への適応力を育てておきたい。

暑い中での水遊び～適度な時間で切り上げてのクールダウンをくり返しながらか、暑さへの適応力を上げてあげたい。冬の寒さも同じです。「暑いから涼しいところで…」と、子どもに無理をさせないことは、子どもを弱くする「残酷な心づかい」だと言っています。

Q17：お昼寝は何歳まで？ 年長のお昼寝は？

A 基本的に0～5歳までお昼寝を想定しています。

「睡眠と脳科学」を参照すると、脳神経の8割を視神経がしめていて、目を閉じて静かに休めることで、脳がとても休まります。情緒が安定して、午後の活動が落ち着きます。

寝なくても、10～20分静かに目を閉じて、休憩するだけで効果は大きなものです。

1年目の5歳児は10月までお昼寝をしていました。2年目はお昼寝ではなく、休憩時間としています。布団に寝るのではなく、ゴザの上にバスタオルをかけて、ごろ寝で20分ほど目を閉じることにしています。

Q18：玄関のセキュリティーはどのようになっていますか？

A 保育園を囲むフェンスは高さ120cm以上です。

玄関の施錠は電子錠です。玄関で呼び鈴を鳴らしていただき事務所から解除する仕様です。

Q19：駐車場や玄関、園庭などに防犯のためのカメラ設置等は考えてありますか？

A 園庭、裏口、ホール、各部屋、事務室にカメラを設置しています。

夜間、休日もセコムの監視がついています。

Q20：園外活動はどのように考えてありますか？

A 野間大池公園や上水公園など近くに公園も多いため、園外保育として散歩や公園散策、園外活動等に積極的に出向きたいと考えています。

Q21：保護者会等はどのようにお考えですか？

A 大池も愛宕も、保護者会は未設置です。

保護者の皆さんに、保育園の事業運営に積極的に関わっていただきたい思いはありますが、余分な負担をかけない工夫も必要ですので、各行事の時々で、保護者の皆様にご協力をお願いしながらすすめてまいります。